

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



すべての災害は
防ぐことができる

★今月の事故から★

1. 事故の概要（就業中）

歩道上の街路樹（ケヤキ）の、枝下ろし作業のため、12尺の三脚に乗り電動チェーンソーで枝を切った際、切った枝が落下し、道路でバウンドして三脚脚立の踏みざん5段目にあたり、バランスを失い脚立と一緒に転落し、歩道アスファルトに腰と後頭部を強打し、病院へ搬送されたが、2日後の11月27日死亡した。

2. 事故の原因

作業当日の気温は23℃と11月にしては暑く、ヘルメットを装着しないで作業を開始した。また、墜落制止用器具（安全帯）は持っていたが使用しなかった。
さらに、三脚脚立の固定についても行っていなかった。切断したケヤキの枝がバウンドし脚立の踏みざんにあたりバランスを崩してしまった。複数で作業していたにもかかわらず、そのときは、一人での作業で補助員がいなかった。

3. 事故後の対応及び再発防止策

【センターの事故後の対応】

- 1 緊急理事会を11/29に開催（事故報告と安全対策について）
- 2 緊急安全対策会議を12/1に開催（事故報告と再発防止対策について説明）
- 3 連合会とセンター合同の安全・適正就業委員会会議を12/3に開催

【センターの再発防止策】

- 1 安全基準の周知徹底と再発防止のための守るべき安全基準について再度教育を12/1に行った。
- 2 作業開始前に朝礼を行い、装備、機具類の点検を行い作業に入る（12/2～実施）
- 3 作業依頼の段階で危険性（リスク）の高い作業に関しては、受注しない、させない。（12/2～実施）。

【連合の再発防止策及びセンターへの指導】

- 1 事故現場を安全・適正就業委員会により聞き取り・環境確認等の検証を12/3に実施。
- 2 連合会 安全・適正就業委員会を開催し対策を検討。全センターの安全担当に対し、周知徹底を図る。（12/15実施）
- 3 県内センター事務局長会議を1/11に開催し、事故の再発防止について徹底を行う。

4. 全シ協から

今回の事故は12年もの間、シルバーに貢献していただいたベテランの会員さんの事故です。

たまたまヘルメットを装着していなかったこと、また、墜落制止用器具（安全帯）も持っていましたが使用していませんでした。

さらに、枝を落とす時の対策として、脚立をしっかりと固定すること、枝を落とす前に何処に落ちるかを確認すること、脚立が動かないように補助員をつけることなどが行われていなかったことが悔やまれるところです。事故防止策で、例えば、安全作業チェックシートなどで剪定就業会員にヘルメット、墜落制止用器具（安全帯）の有無、三脚脚立の固定状態などにチェックを入れ事務局へ提出することなどを行い、会員さんに「自分の安全は自分で守る」ということを意識してもらうことが重要です。このような残念な事故を起こさないようにセンターとして今一度会員が安全、安心して就業できる環境を構築していただき再発防止の徹底をお願いいたします。

令和3年12月（令和3年度）事故速報

(1) 重篤事故

12月は、3件の重篤事故報告がありました。12月までの累計で比較してみると、令和2年度の28件と比べて令和3年度は19件と9件減少しています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和2年度の20件と比べ11件と9件の減少となっており、就業途上については、令和2年度の8件と同数となっています。

12月報告分までの累計

令和3年度累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				令和2年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	11(1)	8(1)	3(0)	11(1)	0(0)	就業中	20	10	10	20	0	
就業途上	8(1)	4(1)	4(1)	6(2)	2(0)	就業途上	8	7	1	4	4	
計	19(2)	12(2)	7(1)	17(3)	2(0)	計	28	17	11	24	4	

前年度比 67.9% ()は、当月報告分です。

12月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
17	男 72歳	就業途上 (入院)	大型トラックにひき逃げされた。(中央分離帯を沿うように自転車を押して歩いていたもよう)	—	—	徒歩
18	男 80歳	就業途上 (死亡)	打合せ会に出席するため同会員とともに会場へ向かう途中に軽トラックごと川へ転落。	—	—	自動車

19	男 75 歳	就業者 (死亡)	歩道上、街路樹枝下ろし作業のため、12尺の三脚にのり、電動チェーンソーで枝を切った際、切った枝が落下し、道路にバウンドして三脚脚立に当たり、バランスを失い歩道、アスファルトに転落し腰と後頭部を強打し、死亡。	×	×	—
----	--------------	-------------	---	---	---	---

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

12月は、就業者の事故29件、就業途上の事故9件と、合計38件であり、昨年度同月の20件と比して18件の増加となっています。また、男女別では、男性は13件の増加となっており、女性は5件の増加となっています。

12月までの累計で比較してみると、昨年度の185件と比して、本年度は195件と10件の増加となっています。就業者・就業途上別にみると、就業者は146件で9件の増加となっており、就業途上は49件で1件の増加となっています。男女別では、男性は3件の減少となっており、女性は13件の増加となっています。

令和3年度12月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)		
		12月	累計	12月	累計	12月	累計	12月	累計	
就 業 中	植木・樹木の剪定等	9(7)	56(60)	9(7)	56(59)	0(0)	0(1)	75	74	
	除草作業	4(3)	31(24)	4(3)	28(20)	0(0)	3(4)	69	74	
	屋内・屋外清掃作業	6(1)	26(28)	2(1)	10(14)	4(0)	16(14)	72	74	
	その他	10(3)	33(25)	9(2)	23(19)	1(1)	10(6)	73	76	
	計	29(14)	146(137)	24(13)	117(112)	5(1)	29(25)	73	74	
就 業 途 上	交 通 手 段	徒歩	2(1)	15(14)	1(1)	5(7)	1(0)	10(7)	74	77
		自転車	3(4)	17(25)	1(2)	6(17)	2(2)	11(8)	75	78
		バイク	1(1)	9(7)	1(1)	5(4)	0(0)	4(3)	76	74
		自動車	3(0)	8(2)	3(0)	6(2)	0(0)	2(0)	75	73
		計	9(6)	49(48)	6(4)	22(30)	3(2)	27(18)	75	76
合 計		38(20)	195(185)	30(17)	139(142)	8(3)	56(43)	74	75	

()は令和2年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、**事故の有無にかかわらず**毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。

※ **シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。**

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故(休業1ヶ月以上)

10月は仕事の型別では、「その他の運搬・清掃・梱包等の職業」8件、「清掃の職業」3件「その他のサービスの職業」2件であり、合計13件でした。前年同月の11件と比較して2件の増加となっています。

10月までの累計で比較してみると、昨年度の60件と比して、14件の増加となっています。また、男女別では、男性は36件で1件の増加となっており、女性は38件で13件の増加となっています。

なお、10月に死亡事故はありませんでした。

令和3年度10月分

仕事の型(中分類)	中分類コード	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		10月	累計	10月	累計	10月	累計	10月	累計
建築・土木・測量技術者	9	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	74
社会福祉の専門的職業	16	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	—	78
商品販売の職業	32	0 (0)	3 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	3 (0)	—	67
販売類似の職業	33	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	74
家庭生活支援サービスの職業	35	0 (3)	9 (5)	0 (1)	1 (1)	0 (2)	8 (4)	—	70
介護サービスの職業	36	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	—	—
生活衛生サービスの職業	38	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
飲食物調理の職業	39	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	—	74
施設・ビル等の管理の職業	41	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	—	78
その他のサービスの職業	42	2 (0)	5 (1)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (1)	70	73
農業の職業	46	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	—	69
製品製造・加工処理の職業	54	0 (0)	2 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (4)	—	73
機械組立の職業	57	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	78
自動車運転の職業	66	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	—	66
採掘の職業	74	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	70
運搬の職業	75	0 (0)	4 (2)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	—	70
清掃の業務	76	3 (3)	12 (13)	0 (2)	4 (8)	3 (1)	8 (5)	76	74
包装の職業	77	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	—	75
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	8 (5)	24 (26)	5 (4)	18 (20)	3 (1)	6 (6)	71	73
計	—	13 (11)	74 (60)	5 (7)	36 (35)	8 (4)	38 (25)	72	72

()は令和2年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害(休業日数4日以上又は死亡)」、「派遣労働会員の通勤災害(休業日数4日以上又は死亡)」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害(業務・通勤ともに)が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

(令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済)

★ 2022年 安全衛生カレンダー ★

- 1月 ●令和3年度 安全衛生教育促進運動（前年12月1日～4月30日）
●令和3年度 年末年始無災害運動（前年12月1日～1月15日）
- 2月 ●省エネルギー月間
- 3月 ●春季全国火災予防運動（1日～7日）
●女性の健康問題（1日～8日）
- 4月 ●熱中症予防強化キャンペーン（1日～9月30日）
●春の全国交通安全運動（6日～15日）
- 5月 ●ごみ減量・リサイクル推進週間（30日～6月5日）
●禁煙週間（31日～6月6日）
- 6月 ●全国安全週間準備期間（1日～30日）
●食育月間 ●男女雇用機会均等月間
●農薬危害防止運動（1日～8月31日）
●危険物安全週間（6日～12日）
●歯と口の健康週間（4日～10日）
- 7月 ●全国安全週間（1日～7日）
●国民安全の日（1日）
- 8月 ●電気使用安全月間 ●食品衛生月間
●防災週間（30日～9月5日）
- 9月 ●全国労働衛生週間準備期間（1日～30日）
●職場の健康診断実施強化月間
●食生活改善普及啓発月間
●心とからだの健康推進運動（1日～30日）
●全国作業環境測定・評価推進運動（1日～30日）
●自動車点検整備推進運動強化月間（1日～10月31日）（沖縄県は8月～9月）
●防災の日（1日） ●救急の日（9日）
●自殺予防週間（10日～16日） ●秋の全国交通安全運動（21日～30日）
●環境衛生週間（24日～10月1日）
- 10月 ●全国労働衛生週間（1日～7日）
●体力づくり強調月間
●仕事と家庭を考える月間
●健康強調月間
●目の愛護デー（10日）
●薬と健康の週間（17日～23日）
- 11月 ●特定自主検査強調月間
●過労死等防止啓発月間
●過重労働解消キャンペーン（1日～30日）
●秋季全国火災予防運動（9日～15日）
●医療安全推進週間（20日～26日）
- 12月 ●令和4年度 年末年始無災害運動（1日～翌年1月15日）
●令和4年度 安全衛生教育促進運動（1日～翌年4月30日）
●職場ハラスメント撲滅月間

（出所 中央労働災害防止協会「安全衛生かべしんぶん」より抜粋）

佐賀県における安全就業の取組み

1 佐賀県シルバー人材センター連合会の概要（令和3年3月31日現在）

■ センター数	19 団体（内国庫補助対象団体 12 団体）
■ 会員数	3,695 人（男性 2,406 名 女性 1,289 名）
■ 受注金額	1,490,772,130 円（うち派遣 134,025,272 円）
■ 就業延人員	350,878 人日（うち派遣 29,005 人日）
■ 粗入会率	1.2 %
■ 就業率	総合：86.7%（請負・委任：82.8% 派遣：48.7%）

2 過去5年間における県内シルバー人材センターの事故発生状況(シルバー保険対象事故)

○ 傷害保険事故

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
事故者数 (人)	就業中	63	71	46	53	59
	途上	5	11	3	3	1
	合計	68	82	49	56	60
就業延人員 1,000 人日 当たり事故発生件数		0.187	0.228	0.136	0.163	0.186
年間就業延人員		361,985	358,775	359,887	341,831	321,873

$$\text{就業延人員 1,000 人日 当たり事故発生件数} = \frac{\text{事故者数}}{\text{年間就業延人員}} \times 1,000$$

○ 賠償責任保険事故

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
対人	0	0	0	0	0
対物	22	34	28	30	32
支払金・身体	0	0	0	0	0
支払金・財物	1,502,621	1,722,361	2,809,504	4,286,679	2,102,342

傷害事故については、以前と比べれば減少傾向にありますが、ここ最近はほぼ横ばい状態です。
傷害事故内容としては、発生件数の約半数が蜂刺されとなっております。

また、佐賀県では近年死亡事故は発生しておらず、今後も死亡事故が発生しないよう、安全就業意識を高めて行きたいと思います。

賠償事故についても発生件数は横ばいです。発生事故の半数以上が草刈作業時の飛び石による物損で、車等のガラス破損が多いのですが、中には複数箇所の修理が必要な場合（車のガラスとボディの修復等）もあり、賠償金額がかなりの高額になったものもあります。

防護ネット等での防御も実施していますが、なかなか減少しません。

3 主な安全就業の取り組み

(1) 安全・適正就業委員会の開催

当連合会では、理事代表2名（委員長・副委員長）、拠点センター代表3名、連合会事務局長の計6名を委員とし、年3回委員会を開催しております。3回開催のうち1回は拠点センターを訪問し、安全パトロールも委員会に併せて実施しています。

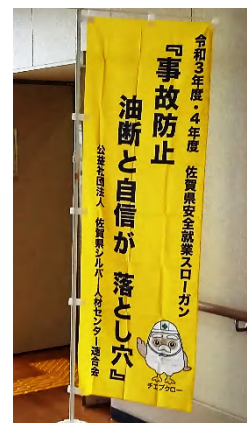
県内で発生した会員の事故状況の把握、分析、各センターでの安全就業対策について情報交換をしています。

(2) 安全就業促進大会の開催

安全就業強化月間である7月に、活動拠点シルバーの役職員や安全委員及び就業会員等を対象に、安全就業促進大会を開催し、安全にかかる講演や事例発表を行っています。令和3年度はコロナウイルスの感染拡大に伴い、規模を縮小して開催しました。

◎最近の安全就業促進大会の講演における講師とテーマ

年度	講師	テーマ
30	佐賀労働局職業対策課 高齢者対策担当官	安全・適正就業について
01	佐賀労働局職業対策課 需給調整室	適正就業について
02	佐賀市高齢福祉課副課長	自らの健康管理と支え合い
03	佐賀県警察本部交通企画課	シニアの交通安全について



また、安全意識を高めるため、2年に1回「安全就業スローガン」を募集しておりますが、最も優秀な作品を佐賀県の「安全就業スローガン」と定め、優秀作品とともに大会で表彰しております。令和3年度～4年度の安全就業スローガンは60点の応募があり最優秀作品は「事故防止 油断と自信が 落とし穴」に決定しました。



労働局講師による講義の様子

(3) 安全就業リーダー養成講習会の開催

安全・適正就業を推進するために、センター等の役職員、安全・適正就業推進員、会員グループリーダー等を対象とした研修を開催しています。

今年度は、コロナウイルス感染拡大の影響で2回の延期の後開催され、規模も縮小して行いました。

◎最近の安全就業リーダー養成講習会の講演における講師とテーマ

年度	講師	テーマ
30	佐賀労働局 職業対策課 高齢者対策担当官	講演1：安全適正就業の徹底について
	谷沢製作所福岡営業所 保護具アドバイザー	講演2：安全保護具の適正な使用方法等について
01	佐賀労働局 職業対策課 高齢者対策担当官	講演1：安全・適正就業について
	佐賀消防署 救急課長	講演2：事故発生時の応急手当について
02	佐賀労働局 職業対策課 高齢者対策担当官	講演1：安全・適正就業について
	佐賀県警察本部 交通企画課	講演2：交通安全について
03	佐賀労働局 労働基準部 健康安全課	講演1：高齢者が安全に働ける作業環境について

(4) 事故防止のための安全対策

安全に就業するためには道具・用具を正しく使うことが重要で、剪定作業においては、脚立の天板に乗ったり、高所作業（足場2 m以上）時に足場の確保や安全帯を着用しなかったりすると、重篤事故につながるという認識を持つことや、草刈作業でも刈払い機の回転数を無理に上げず、適正な使用が重要になってきます。

また、近くに人がいるときや通行人がいる場合、案内板や旗等を用いて作業中であることを知らせることも大切です。



作業中の案内板



作業中の釣り下げ旗

佐賀県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

安全関係の頒布物のご案内

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

安全就業のためのチェックポイント



会員が安全に就業するための要点を、全カラー版でまとめたイラスト小冊子です。
A4判 32頁（10部以上からの販売）
価格 税込 184円（本体 168円＋税）、送料実費

会員必携安全就業ハンドブック



安全就業の心得をはじめ、仕事別の安全対策などを分かりやすく解説したポケット版の会員必携ハンドブックです。
変形B7判（縦12.5cm×横7.6cm）44ページ
○全国版（10部以上からの販売）
価格 税込 136円（本体 124円＋税）、送料実費

事故に学ぶ交通安全のポイント



交通事故の被害者にも加害者にもならず、いつまでも健康で”生涯現役”として活躍していただくため、事故事例に基づき、全カラー版でこの冊子を作成しました。
A4判 20頁（10部以上からの販売）
価格 税込 220円（本体 200円＋税）、送料実費

この3冊は、安全就業の指針を示していますので、会員の皆さまお一人おひとりに、ぜひお持ちいただきたい頒布物です。

お問い合わせは 企画情報課宛、下記 FAX または電子メールでお願いします。

FAX 03-5665-8021 E-mail : zsk@sjc.ne.jp

★ご購入は、全シ協会員専用ページの「頒布物の購入申込み」メニューからお申込みください。

★個人でのご購入は、冊数、お名前、郵便番号、住所、電話番号を明記した FAX・電子メール・郵便ハガキでお申し込みください。

★仕様・価格等、予告なく変更する場合があります。

編集後記

大寒となり、一年で一番寒い時期を迎えています。みなさま、お元気ですか。新型コロナウイルス感染症はオミクロン株の感染拡大が続き、蔓延防止等重点措置が各地で講じられる事態となっていますが、人出の減少はあまり感じられず、行動制限を厳しくしてももう効果は薄れている気がします。会議等のたびに安全就業についての注意喚起を行っていますが、今年度も年度末に向かって事故はまた増加傾向になっています。先日の安全就業指導員会議でも申し上げましたが、事故を防ぐには、「安全はすべてに優先する」「安全無くして就業なし」を合言葉に、「自分の安全は、自分で守る」という意識啓発が何より重要です。事故は「自分には関係ない」、「自分は大丈夫」と思われている方はいらっしゃいませんか。自分を過信することなく、事故は誰にでも起こりうることをとらえ、細心の注意を払い、事故に遭うことがないように、みなさま、年度末に向けて気を引き締めて参りましょう。（松山）

数年前に両親の金婚式のお祝いで旅行へ行った時のことです。飛行機が着陸し皆が喜々としている中、母だけは顔を歪めています。気圧の変化から膝に異変が起き、痛みで歩けなくなってしまったのです。空港から病院へ直行し、膝に水が溜まっていると診断され処置してもらいましたが、痛みはそう簡単には引かず、あれこれ観光のスケジュールを組んでいたのですが、それどころではありませんでした。その後の数年間は何とかだましだまし歩けていましたが、年々症状が悪化し、家のなかでしか生活することができなくなり、気持ちも塞ぎがちになっていました。医師の診断では膝の軟骨が削れ擦れて痛みが出ており、完治の道は手術しかないとのことでした。母のこの後の人生を考えた時、持病もなく頭もしっかりしているのに歩けないのは可哀想なので思い切って手術を勧め、本人も前向きな気持ちで受け入れ、先日、手術は無事に成功し、現在必死にリハビリ中です。身近な人がこのような状況になり、足腰の大切さを痛感しました。規則正しい生活、バランスの良い食事、適度な運動で筋肉の保持が重要です。会員の皆さんには、ケガをしないためにも常にこれらを意識し、シルバー人材センターで長く働いていただけたら幸いです。（高木）

シルバー世代の健康管理



わが国は世界でも屈指の長寿国となり、元気なシルバー世代が増えています。その健康を維持するために、食事、運動、喫煙、飲酒など生活習慣をみずから管理することが重要な課題となっています。本書をシルバー世代の健康づくりのヒントにして、元気な毎日を過ごしていただければ幸いです。

巻末より

「いつまでも
働く喜び 無事
故から」安全就業
スローガン

A5判 40ページ 2009(平成21)年2月発行 以降、増刷対応
(10部以上からの販売)
価格 293円(税込)、送料実費

